

10倍ラクする Illustrator 仕事術

ベテランほど知らずに損してる効率化の新常識

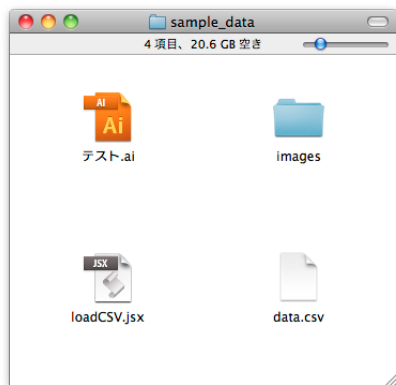
[著] 鷹野 雅弘、秋葉 秀樹、杏珠、尾花 暁

CSVやテキストファイルから
JavaScriptで自動的に組版する

たとえば100名の名刺を情報通りに入力しなければならないとき、数が多ければ多いほどミスをしがちです。その有効な対策としてスクリプトを使って作業を自動化する方法をご紹介します。Illustratorでは、JavaScriptというプログラム言語を使って作業を効率化することができます。外部に保存されたCSV形式のファイル(やテキストファイル)の情報を読み込み、自動的に名刺を生成する、といったことができます。



秋葉 秀樹,テクニカルディレクター ,akiba@raku-ai.jp,akiba.psd
尾花 暁,DTP なんでも屋,obana@raku-ai.jp,obana.psd
西田 悦郎 (杏珠),DTP デザイナー ,anju@raku-ai.jp,nishida.psd
鷹野 雅弘,ディレクター ,takano@raku-ai.jp,takano.psd



- **テスト.ai**
名刺のひな形が入っている
- **「images」フォルダ**
PSD形式の画像が入っている
- **loadCSV.jsx**
スクリプトのファイル
- **data.csv**
名前、肩書き、メールアドレスなどのデータが入っている

ひな形をつくる

今回のサンプルで作る名刺では、「氏名」、「写真」、「肩書き」、「メールアドレス」以外はすべて共通です。

右のような「ひな形」を作成します。

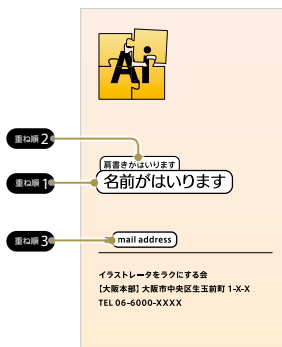
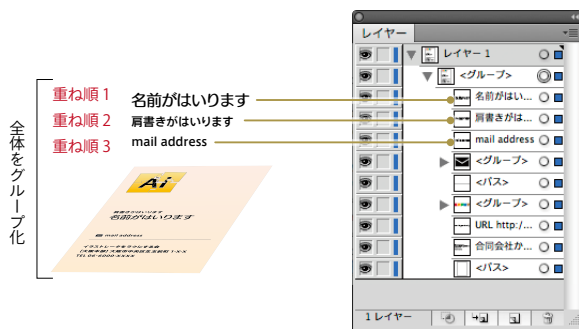


ひな形をグループ化する

今回使うスクリプトは、「グループ化されているオブジェクトをひな形とする」という設計になっているため、ひな形はグループ化しておく必要があります。

その際、「重ね順」に注意してください。

- 「氏名」を1番上にする
- 「肩書き」を上から2番目にする
- 「メールアドレス」を上から3番目にする



重ね順で入れ直す文字を判断する

- 1番上のテキストを「秋葉 秀樹」にせよ。
- 2番上のテキストを「テクニカルディレクター」にせよ。
- 3番上のテキストを「akiba@raku-ai.jp」にせよ。



CSVファイルを用意する

「テキストエディット」などのエディタを使い、「氏名,肩書き,メールアドレス」のように、各項目ごとにカンマ(,)を入れながら文字入力を行い、拡張子を「.csv」で保存します。

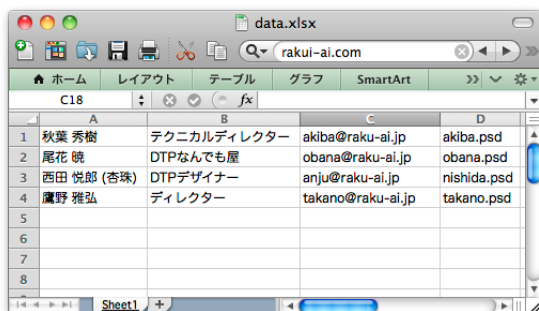
なお、1人分のデータごとに改行を入れてください。



スクリプトではカンマ(,)で情報を分類します。桁区切りなどのカンマがあるとそこで情報が区切られてしまうので注意してください。

Excelを使う

データ量が多い場合には、Excelを使って入力を行い、CSV形式で書き出します。



スクリプトを調整する

1. 「loadCSV.jsx」をテキストエディタで開きます。

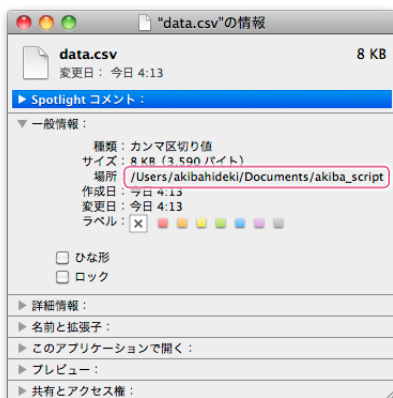
2行目には「var basePath = "/Users/akibahideki/Documents/csv/";」のように、読み込みCSVのパス(場所)が指定されています。このパスを自分の環境に応じて変更します。

```
var page = documents[0];
var basePath = "/Users/akibahideki/Documents/csv/";
var file = new File(basePath+"data.csv");
var itemSize = {w: 156, h: 258, horizontal:5, imgX:17, imgY:74};
var data = [];
var dupframe = page.groupItems[0];
```

2. 「data.csv」を選択し、[ファイル]メニューの[情報を見る]をクリックします。

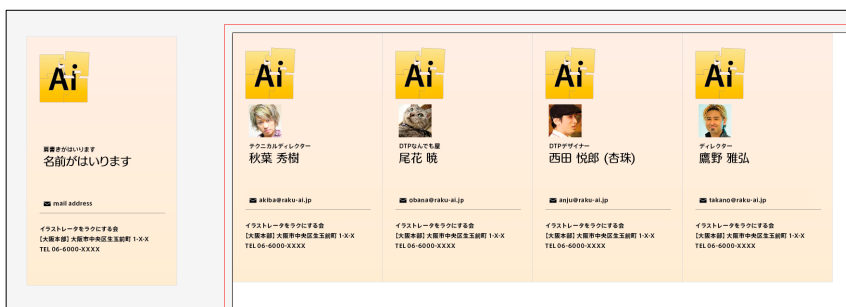
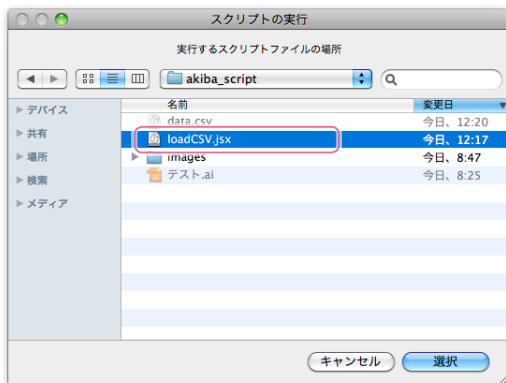
3. [情報]パネルが開いたら、[場所]のテキスト(/Users/akibahideki/Documents/akiba_script/)をコピーし、「loadCSV.jsx」の2行目を変更します。

3行目には「basePath+"data.csv"」と記述されています。2行目+3行目で「data.csv」の場所を特定できるように指定します。



スクリプトを実行する

1. 配置する場所を確保するため、ひな形のグループとなったアートワークをスクラッチエリア（アートボードの外）に移動します。
2. [ファイル]メニューの[スクリプト]→[その他のスクリプト...]をクリックします。
3. [スクリプトの実行]ダイアログボックスが開くので、「loadCSV.jsx」を選択し、[選択]ボタンをクリックします。
4. スクリプトが実行されます。
グループ化されたアートワークが複製され、それぞれにCSVファイル内の文字が読み込まれ、画像が配置されます。



スクリプトをさらに調整する

このスクリプトは、名刺サイズの幅の長さ分、横に移動しながらひな形を複製していきます。スクリプト内の値を変えれば、複製時の移動距離や写真の配置位置を変更できます。

```
var itemSize = {w:156, h:258, horizontal:5, imgX:17, imgY:74};
```

数値の単位はすべてポイント(pt)で表記します。

名刺の横幅 名刺の高さ 折り返しの列数 画像のX座標 画像のY座標

スクリプトを学習したい方は、名刺のサイズを変えたり、写真の位置を変えたりして期待通りの自動化ができるかチャレンジしてみてください。下記のサイト、書籍も参考にしてください。

- ・「Adobe Illustrator CS2自動化作戦」
<http://www.openspc2.org/book/IllustratorCS/>
- ・「Adobe Illustrator CS3 + JavaScript 自動化サンプル集」
<http://digiconcart.com/dccartstore/cart/info/2561/25691>